

睡眠時無呼吸症候群について

医療法人弘仁会南和病院 いびき外来

【どんな疾患？】

- * 睡眠時無呼吸症候群(SAS: Sleep Apnea Syndrome)は、睡眠中に呼吸が止まり、それによって頭痛・眠気・倦怠感・不眠・集中力の低下・夜間頻尿など、様々な障害を引き起こす疾患
- * 日本の成人5人に1人がこの疾患に該当する可能性がある。中等症以上に限れば900万人、軽症も含めれば2200万人になるという報告がある
- * 自分で全く気づいていない人がかなり多い



【この状態を放置するとどうなる？】

- * 交通事故や労働災害・高血圧・糖尿病・心不全・心血管障害・夜間突然死・脳卒中・認知症などの危険性が増すことが知られている。



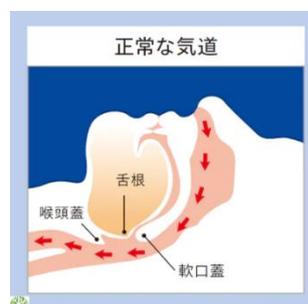
参考: Mokhlesi B, et al. Eur Respir J.2016;47(4):1162-1169
Oldenburg O et al. Eur J Heart Fail.2007 Mar;9(3):251-7

【睡眠時無呼吸症候群の種類】

①閉塞性睡眠時無呼吸症候群(OSA)

睡眠時無呼吸症候群の中でもっとも一般的で、睡眠中に舌や喉の筋肉が弛緩し、気道が一時的に塞がれることで起こるタイプ

原因: 肥満、扁桃やアデノイドの肥大、舌根の気道への落ち込み、顎が小さい



②中枢性睡眠時無呼吸症候群(CSA)

中枢性睡眠時無呼吸症候群は、睡眠中に脳から呼吸の指令が出なくなる、脳の呼吸中枢の異常によるもの

原因: 心不全や脳血管疾患など重篤な疾患

頻呼吸→徐呼吸→無呼吸をあるサイクルで繰り返すチェーン・ストークス呼吸も中枢型



③混合型睡眠時無呼吸症候群

混合型では、睡眠中に閉塞性と中枢性の無呼吸の両方が発生する

引用: Sleep Profiler 自宅配送患者用説明資料 (Philips)